

平成19年度岩手県競馬組合の事業運営等について

平成20年2月18日

財 政 部

1 平成19年度の発売状況

- 年度当初から発売額が計画額を下回る厳しい状況が続き、年度途中で3回のコスト調整を実施。11月（第3期終了後）の3回目のコスト調整後は、見直し計画対比で100.6%（1月14日現在。18年度対比は▲16.1%）。年間の収支均衡が達成できる見込み。
- 発売動向については、
 - ①馬インフルエンザ発生の影響等により自場発売が不振、②他主催者の開催曜日の変更等に伴い広域委託発売も減少したが、③6月に盛岡市大通りに開設した街中場外（通称「ウマッコ」）は、1日当たりの発売額が当初計画の2百万円を上回り順調に推移。

《1月14日までの発売状況》

（単位：百万円、%）

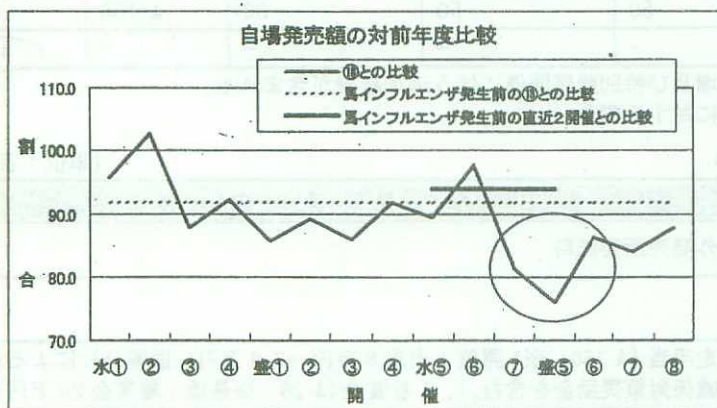
区分	自場発売			広域委託	ウマッコ	計	広域受託
	本場等	街中	小計				
19年度計画 (a)	16,552	250	16,802	4,577	1,214	22,593	6,216
19年度実績 (b)	16,510	257	16,767	4,751	1,213	22,731	6,595
計画比 (b)/(a)*100	99.7	103.0	99.8	103.8	99.9	100.6	106.1
18年度実績 (c)	19,514	-	19,514	6,713	855	27,082	-
前年比 (b)/(c)*100	84.6	-	85.9	70.8	141.8	83.9	-

（注1）18年度同期対比については、通常開催期間（19年度122日間、18年度125日間）との比較。

（注2）計画額は、第3期後の見直し計画の額。

(1) 馬インフルエンザの発生と影響

- 8月から9月にかけて全国的に馬インフルエンザが発生。岩手競馬でも8月22日に発生し、開催中止こそなかったものの、発売額が減少。
- 8月17日から9月21日までに検査した1,358頭のうち、149頭に陽性反応を確認。出走前の出走予定馬全頭の検査や、陽性が確認された馬の隔離などの対応措置を実施。
- 9月17日施行予定であったダービーグランプリ（Jpn I）の地元重賞レースへの振替（9/17の発売計画額424百万円→発売実績額221百万円）や、他主催者の開催中止による広域受委託の一部取り止めなどから、発売にも影響が及んだ。



《発生状況》

区分	内容	
検査期間	8/17 から 9/21	
発症確認	8/22 から 9/8	
検査頭数	1,358 頭	
検査結果	陰性	1,209 頭
	陽性	149 頭
	陽性の内訳	水沢 56 頭 盛岡 93 頭

※8/23-9/23 は他場（県外）との入退厩を制限

(2) 街中場外での発売状況

- 6月9日の開設から1月14日（第4期終了）までの95日間の岩手競馬の発売額は、2億5千7百万円、一日当たり2.7百万円であり、計画比103.0%と、順調に推移。

《発売状況》

（単位：百万円、%）

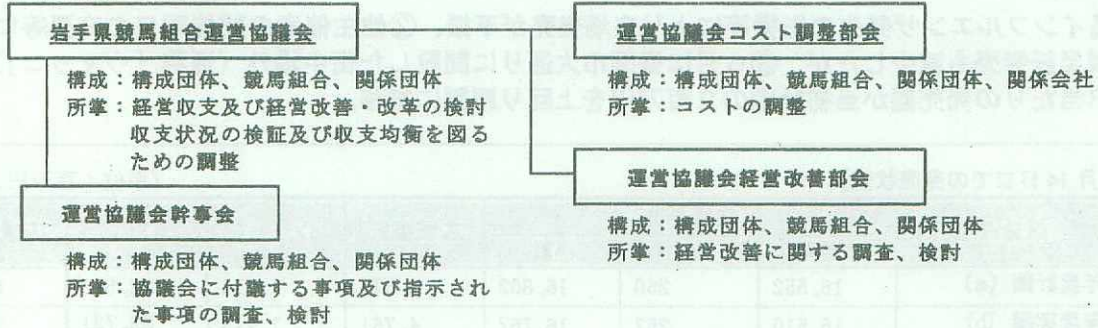
区 分	計画額	自場発売分		広域受託発売分
		発売実績	達成率	
発売額（自場発売95日間、広域受託発売134日間）	250	257	103.0	266
一日当たり発売実績		2.7		2.0

（注）計画額は、第3期後の見直し計画の額。

2 新計画に基づくコスト調整

- 新計画に基づき収支均衡を図るための調整等を行う組織として、平成19年4月に設置した「岩手県競馬組合運営協議会」により、年度途中のコスト調整を実施。
- 年度途中のコスト調整は、関係団体、関係企業の理解と協力のもと、①6月、②8月及び③11月の3回実施。それぞれ、①481百万円、②14百万円、③290百万円、併せて785百万円のコスト調整を実現。これにより年間を通じた収支均衡が達成見込み。

《コスト調整の仕組み》



《コスト調整の状況》

(単位：百万円、%)

区分	計画額				(b)-(a)	3回調整額
	当初計画 (a)	第1期後見直し	第2期後見直し	第3期後見直し (b)		
売上収入	29,959	27,521	27,235	25,580	▲4,379	-
発売額	27,472	25,286	24,976	23,268	▲4,204	-
広域受託協力金等	2,487	2,235	2,259	2,312	▲175	-
売上原価	22,583	20,745	20,473	18,929	▲3,654	▲4
支出	7,190	6,726	6,712	6,621	▲569	▲761
競走関係費	(8.1)	(8.2)	(8.3)	(8.9)	▲154	▲282
事業運営費	(15.6)	(15.8)	(15.9)	(16.5)	▲432	▲479
財務経費	(0.4)	(0.5)	(0.5)	(0.5)	17	0
111	128	128	128	128		
経常損益	186	50	50	30	▲156	▲20
コスト調整額計	-	-	-	-	-	▲785

(注1) 第3期後の見直しには、開催日数増及び特別競馬開催に伴う追加経費が含まれる。

(注2) 計画額上段()数値は売上収入に対する割合。

《コスト調整の主な内容(第1期～第3期)》

(単位：百万円)

項目	コスト調整額	主な見直内容
売上原価 (a)	▲4	場外発売所委託料
支出計(b)+(c)=(d)	▲761	
競走関係費(賞典費) (b)	▲282	出走手当(▲160 ※1開催1出走8万円→7.6万円～振興公社による馬資源確保対策奨励金を含む。)、1着賞金(▲26 ※最低1着賞金20万円→15万円)など
事業運営費 (c)	▲479	
内訳		
施設・情報システム費	▲100	電算機ネットワーク及びトータルライター業務委託料(▲41)、ファンサービス映像業務委託料(▲31)など
開催労務費	▲66	従事員賃金単価(▲35)、警備業務配置ポスト数(▲27)など
営業販売費	▲55	広報委託業務(▲10)、ファン優待バス便数(▲10)、広告宣伝費(▲26)など
人件費	▲77	期末勤勉手当(▲37)、退職手当基金積立金(▲40)
その他販売・管理費	▲181	維持修繕費(▲22)、走路安全管理業務(▲11)など
経常損益(e)	▲20	第3期終了後見直し：50→30
総計 (a)+(d)+(e)	▲785	

3 民間企業との連携

- 民間活力を導入し集客及び増収を図るという観点から、民間企業との協賛・連携を推進。
- 民間企業・団体の協賛レースやイベントを拡充。さらに、競馬場施設を利用した広告掲載も開始。
- なお、上記のほかレースの魅力向上を含む「岩手競馬ルネッサンスプラン」を6月から実施。

(1) 協賛レース

1 概要

民間企業・団体から胸掛け、副賞及び来場者へのプレゼントの提供等の協賛を受け、民間企業の名称等を開催日名称（1日協賛デー）やレース名称（協賛レース）に掲載。（19年10月から協賛レースの一般公募を開始。）

2 実績

《協賛レース実施状況》

項目	協賛者数	レース数	(参考) H18 レース数
1日協賛デー	7	55	9
協賛レース	60	90	35
計	67	145	44

《主な実施内容》

協賛名	開催日	内容
J A岩手ふるさとデー	8/15	クスターカップ 当日にクスターカップ 以外の全レースに副賞を提供。併せて商品抽選会のイベントを実施。
メトロポリタン盛岡デー	9/17	タービークラウン 当日にタービークラウン 以外の全レースに副賞を提供。併せて商品抽選会、商品販売等のイベントを実施。
キリンデー	10/8	南部杯 当日に南部杯 以外の全レースに副賞を提供。併せて商品抽選会、試飲製品の配付等のイベントを実施。
純情米いわてデー	10/21	全レースに副賞を提供。併せて商品抽選会のイベントを実施。
J A江刺デー	11/11	マイルスを除く全レースに副賞を提供。併せて商品抽選会、商品販売会のイベントを実施。
日高軽種馬農協協賛・アドマイヤボス賞	10/20 ほか 3レース	種牡馬アドマイヤボスの配合権利を副賞として提供。
社台スタリオンステーション協賛・スタリオンシリーズ	10/21 ほか 13レース	有馬記念優勝馬ハーツクライなどG I 制覇の種牡馬 13頭分の配合権利を副賞として提供。

(2) 競馬場内でのイベント等の開催

1 概要

来場者を対象に民間企業・団体等が商品の展示・販売、プレゼントの提供などを行い、民間企業等と連携したファンサービスイベントを実施。

2 実績

ゴールデンウィークやお盆期間など多くの集客が見込まれる時期を中心に、自動車展示、産直販売、試供品の提供などのイベントを実施。

《主なイベントの実施状況》

実施団体数	開催日数	備考
27団体	44日	うち15日は協賛レースに併せて実施

(3) 競馬場施設等への広告掲載

1 概要

本年度より民間企業・団体から広告掲載料等を徴収し、競馬組合が保有する財産、印刷物等に民間企業等の広告を掲載。

2 実績

- ・ 看板広告 ホームページを通じて募集を行い、オッズパーク(株)などの看板広告を盛岡・水沢競馬場スタンドに掲示。(例：オッズパーク(株)：水沢、盛岡競馬場のスタンド等9箇所)に60枚掲示)
- ・ 競走番組表への広告掲載 ホームページ・広告会社を通じて募集を行い、県内ホテル等の広告を掲載。(1日当り2,900枚印刷)

《広告掲載実施状況》

項目	広告主数	広告掲載料等(千円)
競馬場への看板広告	10	15,262
競走番組表への広告掲載	(広告会社) 1	200
計	11	15,462

平成 20 年度の事業運営について

平成 20 年度の岩手競馬は、平成 18 年 11 月 20 日に策定した「新しい岩手県競馬組合改革計画」(以下「新計画」という。)に基づき、平成 19 年度に引き続き岩手県競馬組合と競馬関係者が一体となって、持続可能で安定的な事業運営を目指し、競馬事業の継続発展に向けて取り組む。

1 「競走」に係る基本的な考え方

(1) 出走頭数の安定的確保やお客様にとってわかりやすい開催日とするため、「土・日・月曜日」を基本とした開催日程

(2) 重賞・特別競走、ダート・芝両路線の競走体系及び番組格付け区分等の見直し

○ 春は3歳馬によるダービーウィーク、秋は2歳馬による全国規模のレースのシリーズ化(現在、主催者間で調整中)を含め、競走の体系化を図る。

なお、ダービーグランプリについては、競走体系上、3歳の有力馬の確保及び収益性の観点から廃止。

○ 出走馬の安定的確保を図るため、格付区分を8区分から5区分に組替えします。

○ 魅力あるレースを提供するため、芝競走における短距離(1,000m)の特別競走を創設するとともに、全国交流競走及びJRA認定競走を継続。

○ 話題性を提供するため、開催日全日において、重賞及び特別競走を実施。

○ 生産団体等からの協賛をいただき、引き続き、優勝馬の馬主に対し副賞として種牡馬の配合権利が与えられるスタリオンシリーズを開催。

【競走計画の主な概要】

項 目	平成 20 年度計画 (予定)	平成 19 年度
開催回数、日数及び期間	○22 開催 (水沢 14 開催、盛岡 8 開催) ○131 日 (うち特別競馬 6 日間) ※変則開催をせず「土・日・月開催」を基本 ○開幕：平成 20 年 4 月 5 日 (土) ○閉幕：平成 21 年 3 月 29 日 (日)	・ 22 開催 (水沢 14 開催、盛岡 8 開催) ・ 127 日 (うち特別競馬 5 日間)
レース数	○1 日 11~10 レース ○年間概ね 1,400 レース	1,358 レース (予定)
競走体系 (予定)	ダートグレード競走	平成 19 年度まで施行していたダービーグランプリ(Jpn I)は廃止(H19は馬インフルエンザの影響で地元重賞競走に振替施行)
	重賞競走	年間概ね 20 レース
	特別競走	年間概ね 100 レース
	芝競走	年間概ね 100 レース
	格付区分	5 区分 (A 級、B1 級、B2 級、C1 級、C2 級)

2 収支見直し

(1) 収入関係

平成19年度第4期収支計画見直し後の発売収入見込額をもとに、以下のとおり調整。

① 自場発売

水沢・盛岡両競馬場及び県内外に設置している12の場外発売所において、お客様の動向・動線等に沿った効率的な投票券発売に努める。

併せて、岩手競馬の支援団体等との協働等、ホームページやブログを活用した発売の促進。

【自場発売見込額】

(単位：百万円)

平成19年度 最終見込額	平成20年度 見込額	増減額	主な増減理由
17,360	17,824	464	・開催日数(4日)の増 (20年度131日：19年度127日)

② 広域委託発売

これまで岩手県競馬組合が重要施策として取り組んできた広域場間場外委託発売について、平成20年度においても、他主催者との連携のもと積極的に推進。

【広域委託発売見込額】

(単位：百万円)

平成19年度 最終見込額	平成20年度 見込額	増減額	主な増減理由
4,799	4,875	76	・20年度のグレード競走(マーキュリーカップ、南部杯)がJRAの開催日程と重複しないことによる首都圏等での発売額の増

③ インターネット発売

大都市圏をはじめ、岩手競馬を広く全国のお客様にも楽しんでいただけるよう、インターネット事業者と連携した広報・宣伝等に取り組む。

【インターネット発売見込額】

(単位：百万円)

平成19年度 最終見込額	平成20年度 見込額	増減額	主な増減理由
1,257	1,256	△1	・開催日数は4日増加するが、19年度の特殊事情を控除したことによる減

④ 広域受託発売

お客様が通年で競馬を楽しんでいただけるよう、岩手競馬非開催日において、他主催者競走の発売。

また、様々なライフスタイルに合わせ、昼間競走とナイター競馬のリレー発売にも積極的に取り組み、お客様のニーズに沿った参加機会の提供に努める。

【広域受託協力金見込額】

(単位：百万円)

平成19年度 最終見込額	平成20年度 見込額	増減額	主な増減理由
1,475	1,383	△92	・システムメンテナンスに伴う受託発売日数等の減

⑤ 発売額の確保に向けた取り組み

ア 競馬開催告知の徹底

お客様に対する競馬開催情報等の提供について、効率性や地域性を重視した告知広報展開を積極的に実施。

【主な内容】

- ・開催告知を強化するため、構成団体、競馬関係各団体、支援組織及び地元商店街等の協力による開催告知ポスター掲出やPR用パンフレット配布ルートの拡充
- ・通勤時間帯等を考慮した効率的なTV、ラジオ等による告知
- ・入場者数が減少している地域を重点的に新聞折込みチラシを活用した告知

イ 来場促進

お客様がより親しみをもって競馬場や場外発売所に来場いただけるような環境づくりやリピーターの確保策を積極的に実施。

【主な内容】

- ・県内各地の特産物を中心にした特産品市場を定期的に開設
- ・地元企業等とのタイアップによるスポンサーズディの拡大推進
- ・騎手サイン会、厩舎訪問、騎手や話題馬との触合いイベント、バックヤードツアー等の実施
- ・公式ホームページを活用した入場優待サービスの実施
- ・特別観覧席利用回数による優待サービスの実施
- ・場内スペースを活用した写真展、絵画展等の展示コーナーの常設
- ・水沢、盛岡競馬場等におけるJRA（日本中央競馬会）発売による来場促進

ウ 勝馬投票券の発売促進

多くのお客様に勝馬投票券を購入していただくよう、発売促進策を積極的に実施。

【主な内容】

- ・勝馬投票券の発売促進を図る各種キャンペーンの実施
- ・団体を対象とした送迎バスの提供
- ・騎手や話題馬の名入記念グッズのプレゼント
- ・勝馬投票券購入のノウハウを紹介するビギナーズコーナーの設置
- ・競走体系や番組格付け区分等についての積極的な広報
- ・岩手競馬サポーターズネット(※)のネットワークを活用した各種情報の提供
※平成19年9月に設立された岩手競馬ファンによる支援組織（現在6団体で構成）

(2) 支出関係

平成19年度第4期収支計画見直し後の歳出予算をベースに、平成20年度の支出見通しを踏まえながら、次の基本的な考え方にに基づき、効率的な事業運営に努める。

- ① 新計画における経営指標「競走関係費概ね8%以内の額」「事業運営費概ね16%以内の額」「財務経費概ね1%以内の額」の枠組みは変えないこと。
- ② 競走関係費については、最低1着賞金額及び出走手当額の維持や特別奨励金（年齢別に指定した3競走全ての重賞競走において優勝した馬主に対するボーナス制度）を継続することにより、馬資源の確保に努めたこと。
- ③ 事業運営費については、経営指標の枠組みの中で、売上拡大やお客様へのサービス向上に向けた予算の配分に努めたこと。
なお、公営企業金融公庫納付金の制度改正に伴い、前年度の還付金を財源として、今後予定している施設設備の整備に備え、施設等整備基金に積み立てを行う。

(3) 収支見込額

(単位:百万円、%)

項目		平成19年度 最終見込額	平成20年度 見込額	増減額		
岩手競馬 発売収入	自場発売	17,360	17,824	464		
	広域委託発売	4,799	4,875	76		
	インターネット発売	1,257	1,256	△ 1		
	計 (A)	23,416	23,955	539		
その他 収入	広域受託協力金	1,475	1,383	△ 92		
	その他	856	665	△ 191		
	計 (B)	2,331	2,048	△ 283		
収入合計 (C=A+B)		25,747	26,003	256		
売上原価 (D)		19,068	19,283	215		
総利益 (E=C-D)		6,679	6,720	41		
販売費及び 管理費	事業 運営費	競走関係費(賞典費)	(8.7) 2,240	(8.5) 2,200	△ 40	
		施設・情報システム費	(7.1) 1,839	(6.9) 1,795	△ 44	
		開催労務費	(2.9) 738	(2.8) 738		
		営業販売費	(1.0) 268	(0.9) 220	△ 48	
		人件費	(1.5) 389	(1.6) 428	39	
		退職手当基金積立金を除く	349	348	△ 1	
		退職手当基金積立金	40	80	40	
		その他販売・管理費	(4.1) 1,040	(4.6) 1,198	158	
		施設等整備基金積立金を除く	1,040	999	△ 41	
		施設等整備基金積立金		199	199	
		小計	(16.6) 4,274	(16.8) 4,379	105	
		計 (F)	(25.3) 6,514	(25.3) 6,579	65	
		営業損益 (G=E-F)		165	141	△ 24
		営業外費用(支払利息) (H)		(0.5) 126	(0.4) 111	△ 15
経常損益 (G-H)		39	30	△ 9		

注 上段()書は、「収入合計(C)」に対する割合であること。

(★12月20日競馬組合議員協議会資料)

民間委託拡大に関する企画提案の募集について

1 趣旨

岩手競馬の今後の事業運営の方法については、売上に応じたコスト管理を徹底する方法によって事業継続が可能と考えられるが、「民間委託の拡大」によって、ファンサービスと収益性の向上、経営基盤の強化、安定性の向上など、より持続可能で安定的な運営の可能性も期待できることから、現行の運営方法とも比較考量しながら、「民間委託の拡大」による事業運営の可能性について、より具体的な検討を進めるため、民間企業からの企画提案を広く募集する。

(注) 民間委託の拡大：「地方公共団体としての固有業務」及び「競馬法の規定で民間委託できない業務（競走の実施等）」以外の業務を、可能な限り民間企業に一括して委託。委託する主な業務は、勝馬投票券の発売・払戻、競馬場・場外発売所の管理運営、ファンサービス関係など

2 企画提案の募集選定

(1) 周知方法

ホームページ、企業への個別案内、新聞・テレビの報道など、できる限り広く周知。

(2) 応募資格者

法人又は複数の法人で構成する共同事業体

(3) 選定方法

民間企業からの企画提案の選定について、その透明性、公平性を確保するため、専門的な知識を有する有識者などを交えた企画提案選定委員会を設置。提出された企画提案書について、選定委員会で審査・評価し、最優秀提案を選定。なお、募集要領、選定基準は選定委員会で予め決定。

(4) 留意事項

競馬組合は、選定委員会の選定結果を受けて、現行の運営方法と比較考量し、岩手競馬の今後の事業運営の方法として「より持続可能で安定的」と判断される場合、必要な手続きを経て、最優秀提案者と提案内容に沿って契約内容についての協議を進めることになるもの。

3 企画提案の内容

次の事項について提案を受ける。

- (1) 業務遂行に当たっての基本方針・業務実施フロー（業務の範囲・実施期間の提案を含む。）
- (2) 運営組織・執行体制
- (3) 業務効率化策
- (4) ファンサービス向上策
- (5) 集客・売上向上策
- (6) 危機管理体制（機密保持対策、不測の事態に対する措置等）
- (7) 施設を活用したビジネス展開の計画、その他独自の工夫
- (8) 競馬組合の収益保証率
競馬事業から得られる収入に対する収益保証率を提案。
- (9) 提案期間に応じた年度別入場人員見込み・競馬事業の収支見込み
- (10) 委託料経費積算見込み（競馬事業から得られる収入が260億円（平成19年度見込相当）の場合で算定）

なお、委託料の算定方法は次のとおり。

委託料＝競馬事業から得られる収入－〔売上原価＋賞典費＋直営経費＋借入金利子＋収益保証相当額（構成団体融資金元金償還金・留保資金）〕

- 注：① 売上原価：払戻金、地方競馬全国協会交付金、公営企業金融公庫納付金、広域場外業務協力金及びインターネット発売委託料（競馬法の規定等、既定のルールに基づき算定）
- ② 賞典費：競走の賞金、諸手当（売上収入の概ね8％で算定）
- ③ 直営経費：総務管理費、議会運営費、補助金・負担金、競走の実施に要する経費及び退職手当積立金等（所要額により算定）
- ④ 借入金利子：構成団体融資利子及び一時借入金利子（所要額により算定）
- ⑤ 収益保証相当額：競馬事業から得られる収入に提案者が提案する収益保証率を乗じた額
- ⑥ 留保資金：災害等の不測の事態に備えた準備金、建物・設備の改修・更新の経費、運転資金

【参考】「プロジェクト・チーム第一次報告」において民間委託拡大の場合に想定する条件

委託契約の条件等は、受託企業との協議の上で決定されるものであるが、構成団体のプロジェクト・チームの報告は次のとおり。

- 1 収益率 受託企業との協議の上で決定されるものであるが、構成団体融資の元金償還金と留保資金の所要額を考慮し、競馬事業から得られる収入の1％程度が適当。
- 2 契約期間 委託事業の継続性を確保するという観点から、複数年度とし、その期間は指定管理者制度の例を参考に3～5年が適当。
- 3 契約解除条件 収支不均衡等を理由に受託者から中途解除を行う場合、競馬事業の継続性を確保するため、1年前の解除予告を義務付けることが適当。
- 4 競走計画作成の意見調整 民間のノウハウを活用したレースの魅力向上や、競馬事業の円滑な開催といった観点から、公正の確保を前提として、競走計画の作成過程で、受託企業と意見調整を実施。
- 5 建物・設備の修繕等 建物・設備等の日常的な修繕・保守は、受託業務の範囲として、受託企業が実施。ファンサービス向上やコスト低減のための新たな設備投資は、予め競馬組合と協議した上で、受託企業において実施可。

4 企画提案選定委員会

(1) 委員構成

区分	所属	職名	氏名	備考
有識者 (4名)	地方競馬全国協会	理事	雨 宮 敬 徳	
	岩手県競馬組合事業運営監視委員会	委員	下 田 栄 行	公認会計士
	競馬愛好者	IBC岩手放送制作グループ副部長兼報道局アナウンス部副部長	加 藤 久 智	2004-2006 年度岩手競馬年度代表馬等選考委員会委員長
		俣長栄館社長	照 井 雄 詞	競馬組合議会特別委員会参考人・経営者
競馬組合議会 (1名)	競馬組合議会	議員	新居田 弘 文	特別委員会委員長
構成団体 (3名)	岩手県	農林水産部長	高前田 寿 幸	
	奥州市	副市長	岩 井 憲 男	
	盛岡市	副市長	池 田 克 典	
競馬組合 (2名)	競馬組合	事務局長	宮 一 夫	
		業務部長心得	渡 辺 敦 朗	
計	10名			

(2) 審査選定

- ① 審査に当たっては、応募者からプレゼンテーションを受ける。審査は、委員間の意見交換を行った上で、別に定める選定基準に基づき各委員が採点し、その点数の合計により最優秀提案を選定。なお、選定基準は募集要領と併せて予め公表。
- ② 企画提案の選定を行う会議は、民間企業の生産・技術・販売上のノウハウ等に関わる情報を取り扱うことから非公開とするが、委員会の採点、評価などの選定結果は、選定されなかった民間企業の社名等を除き公表。

5 スケジュール

- (1) 選定委員会 12月27日（募集要領、選定基準の決定）
- (2) 募集期間 1月4日（金）～3月31日（月）
 - ・ 説明会開催 1月18日（金）
 - ・ 参加申込期間 3月3日（月）～3月7日（金）
 - ・ 提案書提出期間 3月24日（月）～3月31日（月）
- (3) 選定委員会 4月下旬（企画提案の審査・評価、最優秀提案の選定）
- (4) 運営方法検討 5月（現行の運営方法とも比較考量し、岩手競馬の今後の運営方法を検討）

【企画提案募集・検討の流れ】

